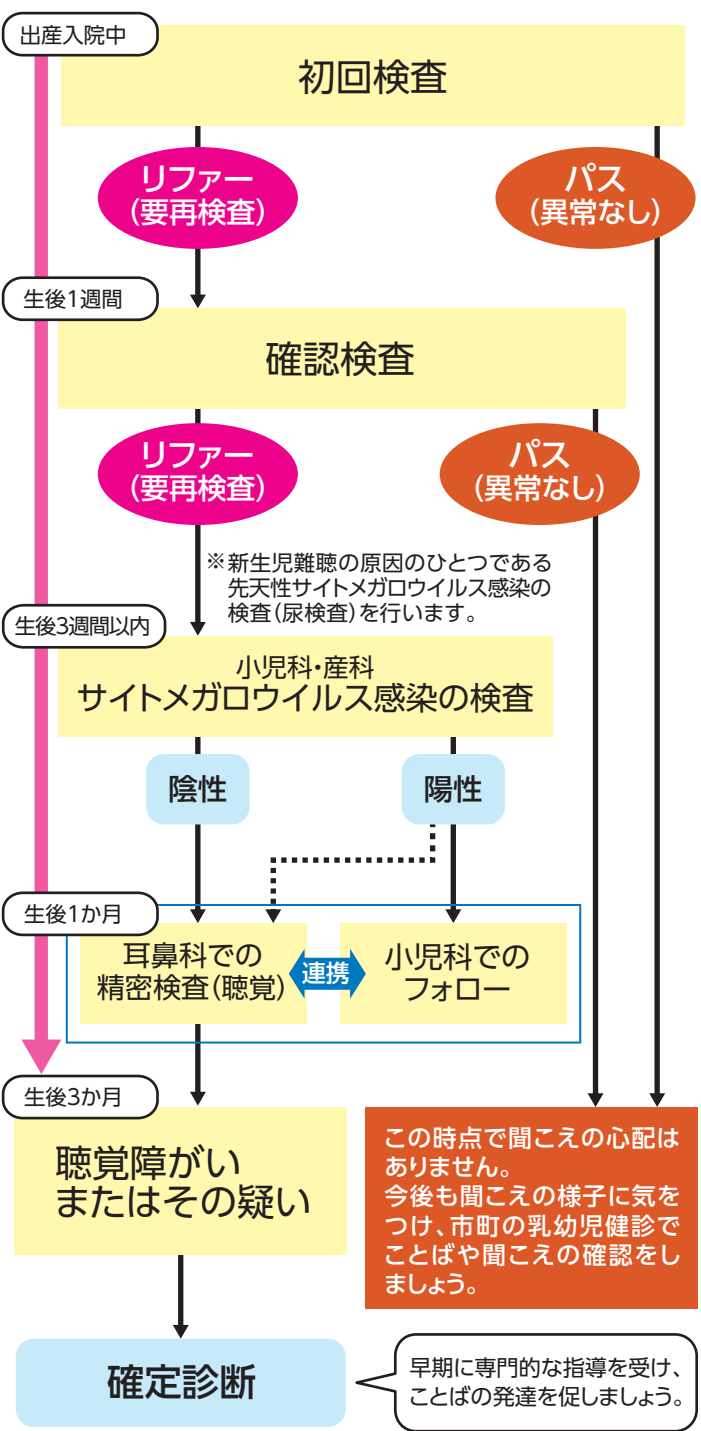


新生児聴覚検査のながれ



県内各市町のお問合せ先 (新生児聴覚検査担当窓口)

市町	所在地	電話番号
四国中央市	四国中央市三島宮川4丁目6-55	0896-28-6054
新居浜市	新居浜市庄内町4丁目7-17	0897-35-1070
西条市	西条市神拝甲324番地2	0897-52-1316
今治市	今治市別宮町1丁目4番地1	0898-36-1553
上島町	越智郡上島町生名621番地1	0897-74-0911
松山市	松山市萱町6丁目30番地5	089-911-1869
東温市	東温市見奈良490番地1	089-964-4407
松前町	伊予郡松前町大字筒井631番地	089-985-4189
伊予市	伊予市尾崎3番地1	089-983-4052
砥部町	伊予郡砥部町宮内1369	089-907-5665
久万高原町	上浮穴郡久万高原町久万188番地	0892-58-9990
内子町	喜多郡内子町平岡甲168番地	0893-44-6155
大洲市	大洲市東大洲270番地1	0893-57-6710
八幡浜市	八幡浜市松柏乙1101番地	0894-21-3122
伊方町	西宇和郡伊方町湊浦866番地	0894-38-1811
西予市	西予市宇和町卯之町3丁目434番地1	0894-89-0018
宇和島市	宇和島市曙町1番地	0895-24-1111
松野町	北宇和郡松野町大字延野々1406番地4	0895-42-0708
鬼北町	北宇和郡鬼北町大字近永800-1	0895-45-1111
愛南町	南宇和郡愛南町城辺甲2420番地	0895-72-1212

新生児聴覚検査のご案内



新生児聴覚検査の詳細は、かかりつけの産科医療機関、あるいはお住まいの市町の新生児聴覚検査担当窓口までお問い合わせください。

愛媛県・市町

(2026年4月)

新生児聴覚検査とは・・・

赤ちゃんの聴覚に問題がないかを早期に発見するための検査です。生まれつき、両側の耳の聞こえに問題があるお子さんは1,000人に1～2人と言われています。

? どのような検査ですか?

赤ちゃんが眠っている間に、音を聞かせて脳波を測定し判定する方法(自動ABR)で行います。いずれも短時間で安全に行える検査で、痛みや副作用もありません。

? いつどこで検査を受けたらよいですか?

出生後入院中に、出産した医療機関で行います。医療機関に検査機器のない場合は、検査可能な医療機関を紹介してもらいましょう。

? 検査費用はどのくらいかかりますか?

検査費用は、医療機関、検査方法により異なりますが、およそ5,000円～9,000円程度です。

検査は健康保険が適用されないの、自費診療となります。

愛媛県内の市町では、検査費用の(一部)公費助成を行っています。

※右側の「新生児聴覚検査費用の公費助成について」をご覧ください。

このリーフレットの内容について、ご質問やご不安がある場合は、お住まいの市町の新生児聴覚検査担当窓口まで、ご連絡ください。(裏面参照)

検査により、聴覚の問題を早期に発見し適切な治療を行うことで、ことばの発達への大きな効果が期待できます。

? 検査の結果「パス」(異常なし)でした。聞こえの心配はありませんか?

現時点では、聞こえに問題はありませんが、今後の成長過程で中耳炎やおたふく風邪などで、あとになって、難聴が生じる場合もありますから、退院後も1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査などで耳の聞こえはどうか、ことばの増え方は順調かなどの確認をしっかりとっていくことが大切です。

? 検査の結果、「リファー」(要再検査)でした。聞こえの障がいがあるのでしょうか?

「要再検査」であった場合でも、必ず耳の聞こえが悪いとは限りません。生まれたばかりの赤ちゃんは、耳の中に液体(羊水)が残っているなどの原因で、検査にパスしないことがありますので、再検査を受けることが必要です。

? 精密検査は、どのような検査ですか?

精密検査は、確認検査で「リファー」(要再検査)となった場合に、医師から紹介される耳鼻咽喉科の専門医療機関を速やかに受診し、遅くとも生後3か月までに、耳の診察や月齢に応じた音に対する反応を見る検査などを行います。(精密検査は健康保険が適用されます。また、乳幼児医療費助成の対象となります。)

? 先天性サイトメガロウイルス感染の検査は、どのような検査ですか?

確認検査で「リファー」(要再検査)の場合、生後3週以内に小児難聴の原因の一つであるサイトメガロウイルスの尿検査を行うことが強く勧められています。結果が陽性の場合、生後2か月までに小児科の専門医療機関で抗ウイルス薬などの治療開始が検討されます。

新生児聴覚検査費用の公費助成について



《対象者》

愛媛県内の市町に住民票のある妊婦が出産した新生児

《検査内容》

・自動聴性脳幹反応検査(自動ABR)

《公費助成対象検査》

・初回検査
・確認検査(必要な方のみ) の計2回

《公費助成額》

1回の検査に付き、5,000円まで

《受診票》

・妊娠届出をされた方には、母子健康手帳と一緒に「新生児聴覚検査受診票」を交付しています。

◎県外で新生児聴覚検査を受けた場合、上記の受診票は使用できません。この場合の払い戻しについての詳細は住所地の市町の新生児聴覚検査担当窓口にお問い合わせください。(裏面参照)